

【実践報告】

教育実習Ⅳ実践報告

広島文教女子大学人間科学部

グローバルコミュニケーション学科 教授 笹原 豊 造

0 はじめに

教育実習Ⅳは優れた先輩教師の授業を観察することにより、授業を計画・実践する力を育成することが主眼である。また、それと並行して、4年生で実施される教育実習に備えて、限られた日時での学修を充実させるための指針を明確にすることも重要である。

実習Ⅳは、事前指導、広島大学附属中・高等学校研究大会での授業観察、広島大学附属東雲小・中学校での授業観察、事後指導、本実習に向けての各種ガイダンスで構成されている。

広島大学附属中・高等学校は、ここ3年間の研究テーマとして「知識基盤社会における生徒の育成」を掲げてきた。最終年度である本年度は「教科教育を基盤にした中等教育における実践」を副題とし、知識基盤社会において必要とされる力を精緻化し、その力を育成するための具体的方略を各教科で考究することとしている。

広島大学附属東雲小・中学校では、小・中の共同研究テーマとして、「グローバル時代をきりひらく資質・能力」を育むための学びを豊かにする授業の創造－教科の独自性を生かした東雲がめざす授業の方向性－を掲げている。

1 実習の具体的内容

| 活動 | 指導内容 |
|---------|---|
| 事前指導 | 実習に臨む心構え・実習校の紹介・研究大会の概要など |
| 教科別事前指導 | 教科別に教科の特性に即しての事前指導 |
| 観察実習 | 広島大学附属中・高等学校教育研究大会参加 10月13日（土） 広島大学附属東雲小・中学校教育研究大会参加 11月17日（土） |
| 教科別事後指導 | 教科別に観察した授業を材料に事後指導 |
| 各種ガイダンス | 本実習に向けての心構え・本実習の準備など |

2 広島大学附属中・高等学校教育研究大会の概要

（1）国語科「学びの質」を高めるために－評価のあり方－

国語科では、「『学びの質』を高めるために」というテーマを掲げ、1年目は「ファシリテーター」としての授業者のあり方、2年目は国語科の「見方・考え方」の活用について、研究の最終年度である3年目の今年は、「評価」について、問題提起した。

公開授業（1限）9:30～10:20

三根 直美 『少年の日の思い出』一語りの構造を踏まえて―（中学1年）

公開授業（2限）10:35～11:25

増田 知子 『鶏口牛後』―他者の気持ちを動かす言葉の力―（高校1年）

（2）英語科 学びを深める英語授業

中学校公開授業では、スピーキング力の育成に焦点を当てる。高等学校公開授業では、生徒たち自身が評価規準を考え、ピアエディティングを通して、自分の意図が相手に伝わる英文を書くことを目標にする。

公開授業（1限）9:30～10:20

山岡 大基 「自分のことば」を深める（中学2年）

公開授業（2限）10:35～11:25

富野 雅嗣 協働による読み手を意識した英作文の指導（高校3年）

（3）パネル・ディスカッション

コーディネーター：吉田 成章 先生（広島大学大学院教育学研究科准教授）

パネリスト：井上 純一（本校教諭・理科（生物））、橋本 直子（本校教諭・保健体育科）、橋本 三嗣（本校教諭・数学科）、山岡 大基（本校教諭・英語科）

参考資料：深い学び』とは何か―、その探究に向けて、本校では、昨年度の研究大会で京都大学高等教育研究開発推進センター教授・松下佳代先生に「なぜ『深さ』が重要なのか―能力・学習・評価のつながりから考える―」の演題でお話いただき、校内研修でも「深い学び」を研究開発テーマとし、教科スケルトン（教科毎の「深い学び」「学びの深さ」の定義、「深さ」の系譜や「深い学び」の契機にかかわる要素、「学びの深さ」を実現する実践仮説）の策定に挑んできました。（中略）

本年度の研究大会では各教科の公開授業・協議の前後に2回の全体会を企画しました。開会時の全体会では学校全体の研究課題やSSHプログラムとの関係などについて概要を説明し、教科個別の授業を批評する視点の共有を図ります。総括の全体会では広島大学大学院教育学研究科准教授・吉田成章先生にコーディネーターをお願いし、本校教員によるパネル・ディスカッションを実施します。（広大附属HPより）

3 広島大学附属東雲小・中学校教育研究大会の概要

今年度のテーマは「The Very 東雲 教科等の独自性を生かした手立てを提案！！」である。

（1）国語科

| 学年 | 単元・題材 | 授業者 |
|----|---------------------------------|-------|
| 小1 | ことばからそうぞうして書こう | 羽場 邦子 |
| 小2 | 空想を詩にしよう | 宮本 隆裕 |
| 小5 | 協力して詩を創作しよう「連詩に挑戦」 | 谷 栄次 |
| 中3 | 「『詩人の時間』を体験する」～詩人との競作にチャレンジしよう～ | 浜岡 恵子 |

（2）外国語科

| | | |
|----|---|-------|
| 小5 | 場面や相手を意識しながら、楽しく会話しよう！ ～ She can run fast. He can jump high. ～ | 中山 貴司 |
| 中1 | コミュニケーションの見方・考え方を働かせる授業づくりの工夫 ～場面や状況に応じて、考えて表現しよう～ | 水川 航生 |
| 中3 | 主体的・対話的で深い学びの実現をめざして～主体的な読み手となろう～ | 井長 洋 |